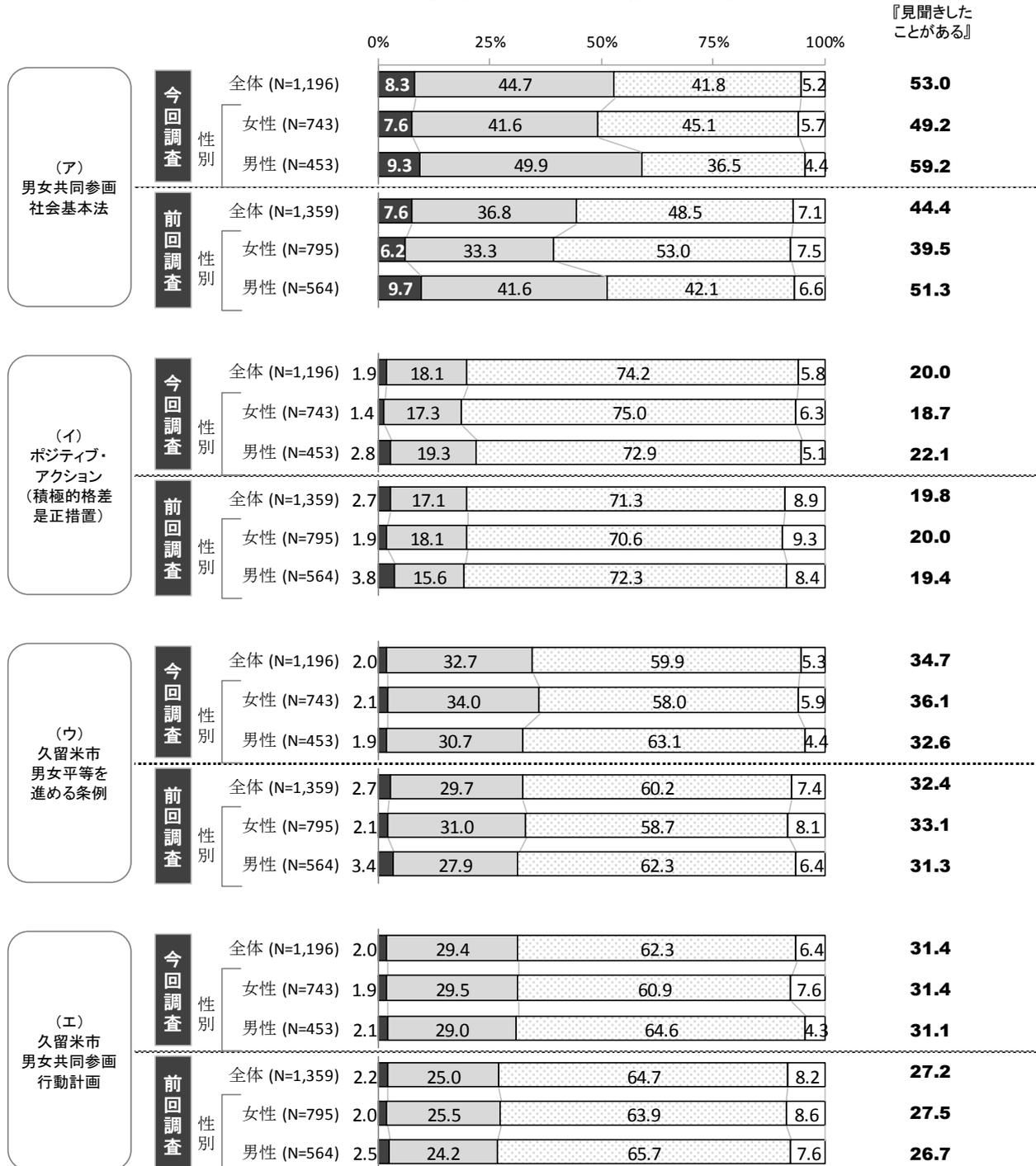


第8章 男女平等、男女共同参画などに関することについて

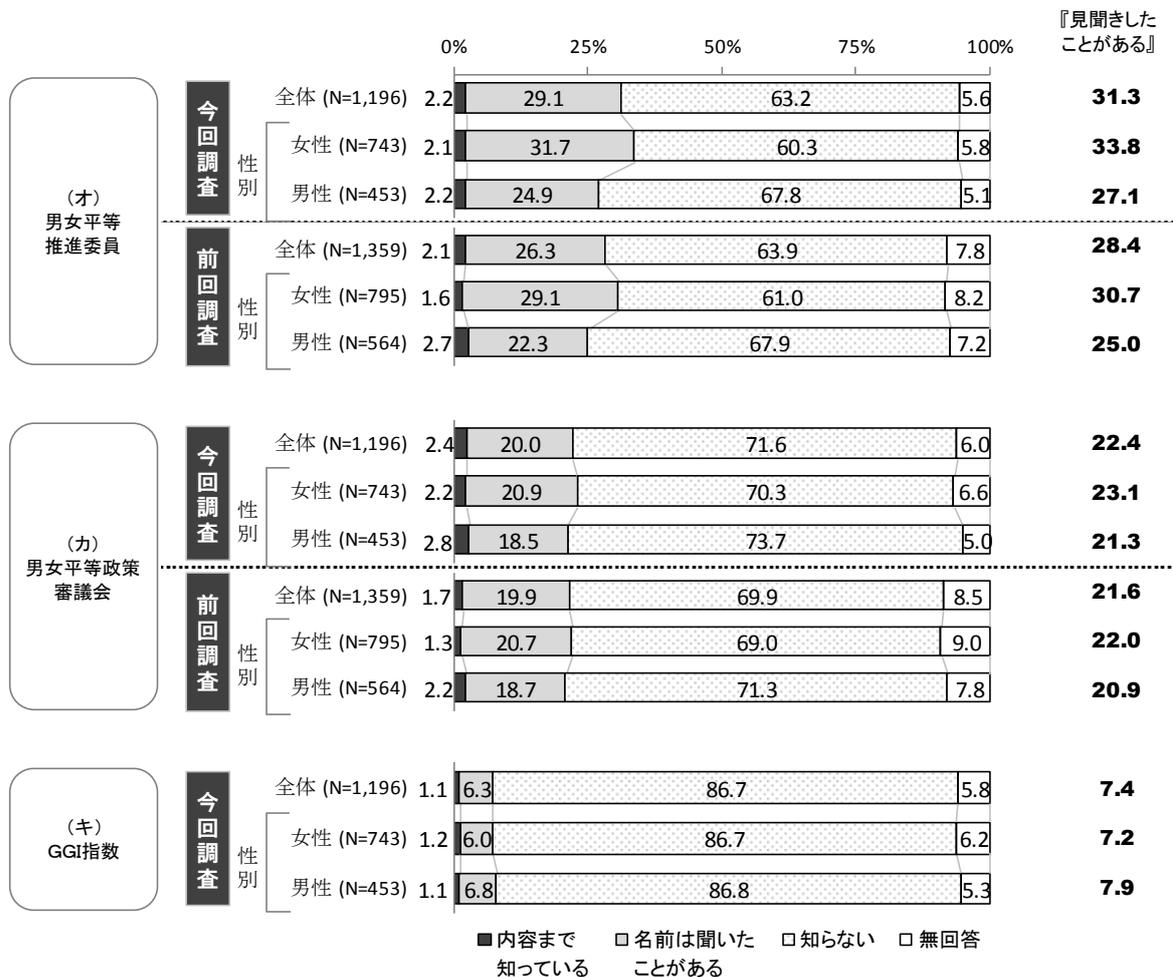
1. 市の取り組みの認知状況

問 20. 次のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるのはどれですか。(ア)から(キ)のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び番号に○印をつけてください。

図 市の取り組みの認知状況[全体、性別](前回調査比較)



■内容まで知っている □名前は聞いたことがある □知らない □無回答



男女共同参画推進に関する条例や計画など法律や市の男女平等政策等について、認知度をたずねた。「内容まで知っている」と「名前は聞いたことがある」をあわせた『見聞きしたことがある』という回答が最も高かったのは「男女共同参画社会基本法」で53.0%、次いで「久留米市男女平等を進める条例」が34.7%、「男女平等推進委員」が31.3%と続く。「GGI指数」が最も低く7.4%である。

性別にみると、「男女共同参画社会基本法」は『見聞きしたことがある』は女性49.2%、男性59.2%で、男性の方が10ポイント高い。「久留米市男女平等を進める条例」と「男女平等推進委員」「男女平等政策審議会」など市の男女平等政策については女性の認知度がやや高い。

前回調査と比較すると、女性において「ポジティブアクション（積極的格差是正措置）」の『見聞きしたことがある』の割合がやや低くなっているものの、「男女共同参画社会基本法」で9.7ポイント、「久留米市男女共同参画行動計画」で3.9ポイント増加し、その他の項目でも数ポイントながら認知度は上がっている。また男性においてもすべての項目で前回調査より認知の割合は高くなっている。

第8章 男女平等、男女共同参画などに関することについて

年齢別にみると、「男女共同参画社会基本法」は、男女とも20歳代で他の年代に比べて「内容まで知っている」の割合が高くなっている。一方で、「久留米市男女平等を進める条例」や「久留米市男女共同参画行動計画」「男女平等政策審議会」などの久留米市独自の取り組みについては、男女とも20歳代では「内容まで知っている」人は低く、「名前は聞いたことがある」とする割合も低くなっている。法律について認知が高いのは学校の教科で学習した結果であると推測され、市の施策についても若年層が学習する機会が増えるような工夫が求められる。

表 市の取り組みの認知状況[全体、年齢別]

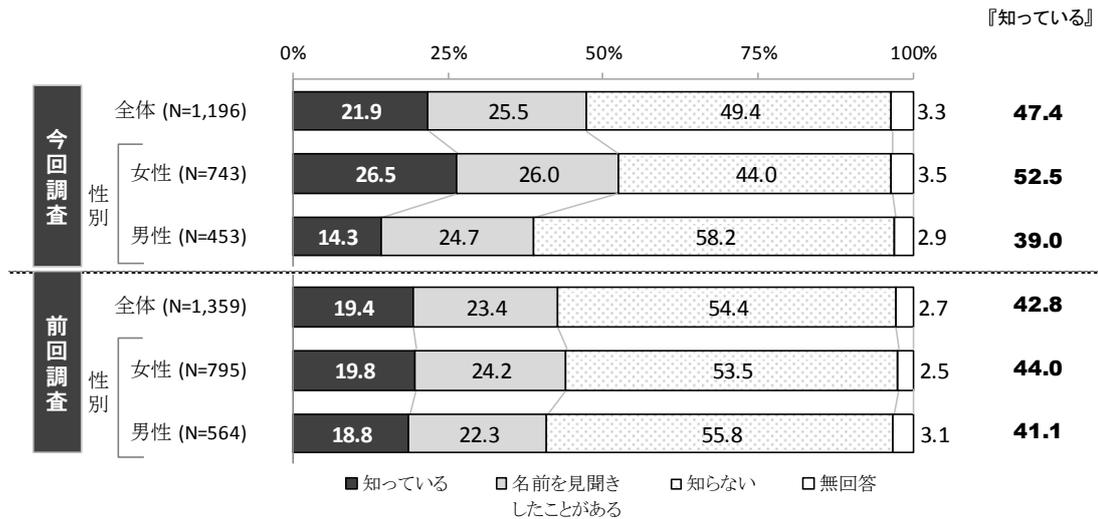
		(ア)男女共同参画社会基本法				(イ)ポジティブ・アクション (積極的格差是正措置)				(ウ)久留米市男女平等を進める条例				(エ)久留米市男女共同参画行動計画				(%)
合計		て内容まで知	こ名前が聞いた	知らない	無回答	て内容まで知	こ名前が聞いた	知らない	無回答	て内容まで知	こ名前が聞いた	知らない	無回答	て内容まで知	こ名前が聞いた	知らない	無回答	
全体		1,196 100.0	99 8.3	535 44.7	500 41.8	62 5.2	23 1.9	216 18.1	887 74.2	70 5.8	24 2.0	392 32.7	717 59.9	64 5.3	24 2.0	351 29.4	745 62.3	76 6.4
年齢別	女性:20歳代	61	28.6	38.1	33.4	-	7.9	10.2	81.8	-	0.8	26.1	73.1	-	0.8	19.8	79.5	-
	女性:30歳代	99	4.4	44.8	47.4	3.4	1.9	13.6	81.0	3.4	2.5	29.2	64.9	3.4	1.0	29.7	65.9	3.4
	女性:40歳代	140	4.8	40.0	52.4	2.8	1.0	16.2	81.1	1.7	1.0	33.1	64.2	1.7	2.1	29.3	66.5	2.1
	女性:50歳代	133	4.3	44.1	49.0	2.5	0.4	14.8	80.1	4.7	-	40.2	56.2	3.6	-	32.6	62.0	5.4
	女性:60歳代	184	5.7	42.4	45.6	6.3	0.8	22.8	69.7	6.8	2.3	36.4	54.2	7.0	2.9	33.0	54.5	9.7
	女性:70歳以上	124	9.7	37.2	36.8	16.3	0.4	20.1	61.7	17.8	5.4	31.7	46.5	16.3	3.9	25.2	50.4	20.5
	男性:20歳代	30	11.3	48.4	35.5	4.8	1.6	16.2	74.2	8.1	-	17.8	74.2	8.1	-	16.2	75.8	8.1
	男性:30歳代	54	9.0	40.2	50.9	-	3.5	13.4	83.0	-	-	25.9	74.1	-	-	22.3	77.7	-
	男性:40歳代	77	8.1	39.7	49.8	2.5	2.5	17.4	79.6	0.6	-	27.9	71.5	0.6	0.6	22.4	76.4	0.6
	男性:50歳代	93	10.8	51.6	35.0	2.6	3.1	13.4	79.3	4.1	3.1	27.3	65.5	4.1	3.6	30.4	62.4	3.6
	男性:60歳代	125	7.7	56.4	29.7	6.2	2.7	23.1	68.1	6.2	1.5	33.1	59.2	6.2	1.5	33.4	58.9	6.2
	男性:70歳以上	71	10.9	56.5	23.8	8.8	2.7	28.6	56.4	12.2	5.4	43.6	43.5	7.5	5.4	38.1	49.0	7.5
	無回答	5	-	60.0	40.0	-	-	-	100.0	-	-	40.0	60.0	-	-	40.0	60.0	-
合計		て内容まで知	こ名前が聞いた	知らない	無回答	て内容まで知	こ名前が聞いた	知らない	無回答	て内容まで知	こ名前が聞いた	知らない	無回答					
全体		1,196 100.0	26 2.2	348 29.1	755 63.2	66 5.6	29 2.4	239 20.0	856 71.6	72 6.0	14 1.1	75 6.3	1,037 86.7	70 5.8				
年齢別	女性:20歳代	61	3.1	36.4	60.4	-	3.1	12.6	84.3	-	3.1	0.8	96.1	-				
	女性:30歳代	99	2.4	37.0	57.1	3.4	0.5	20.9	75.1	3.4	-	14.1	82.5	3.4				
	女性:40歳代	140	2.1	25.9	70.3	1.7	2.1	21.0	74.8	2.1	2.8	5.5	88.6	3.1				
	女性:50歳代	133	-	33.0	63.4	3.6	0.4	21.0	75.0	3.6	-	3.3	93.1	3.6				
	女性:60歳代	184	1.3	32.0	60.8	6.0	1.8	21.8	69.1	7.3	0.8	4.7	89.0	5.5				
	女性:70歳以上	124	5.0	29.8	47.6	17.5	5.8	22.9	51.5	19.8	1.2	7.4	72.8	18.6				
	男性:20歳代	30	-	29.1	62.9	8.1	-	19.4	72.6	8.1	4.8	4.8	82.2	8.1				
	男性:30歳代	54	5.4	19.7	75.0	-	5.4	17.9	76.7	-	-	3.5	96.5	-				
	男性:40歳代	77	0.6	28.0	70.8	0.6	0.6	15.5	83.3	0.6	-	4.3	95.1	0.6				
	男性:50歳代	93	3.1	24.8	68.0	4.1	4.6	16.5	74.7	4.1	-	7.2	88.7	4.1				
	男性:60歳代	125	2.7	22.3	67.3	7.7	3.5	18.1	72.3	6.2	2.7	7.3	83.8	6.2				
	男性:70歳以上	71	0.7	29.3	60.5	9.5	0.7	25.9	61.9	11.6	-	11.6	74.8	13.6				
	無回答	5	-	20.0	80.0	-	-	20.0	80.0	-	-	-	100.0	-				

2. 男女平等推進センターについて

(1) 男女平等推進センターの認知

問 21. あなたは、久留米市の男女平等推進の拠点として男女平等に関する講座や相談などいろいろな事業を行っている「男女平等推進センター」（えーるピア久留米内）をご存じですか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

図 男女平等推進センターの認知[全体、性別](前回調査比較)



「男女平等推進センター」を「知っている」は21.9%で約2割となっている。「名前を見聞きしたことがある」(25.5%)と合わせた『知っている』でも47.4%で約5割となっている。

性別にみると、「知っている」は女性26.5%、男性14.3%と女性の方が12.2ポイント高く、『知っている』は女性52.5%、男性39.0%と女性の認知度は5割を超えている。

前回調査と比較すると、前回調査では認知度は男女とも約4割と変わらなかったが、今回調査では女性の「知っている」が6.7ポイント高くなっており、女性の認知度が上がっている。

年齢別にみると、男女とも20歳代での「知っている」が1割に満たず低くなっている。女性では30歳代以上ではすべての年代で「知っている」が2割を超え、『知っている』は5割前後となっている。男性は60歳代以上の年齢の高い層で『知っている』が4割を超えて他の年代より高く、定年を迎える年齢になると男女平等推進センターの認知が高まるといえる。

居住地域別にみると、中央東部と東部Aで「知っている」が3割を超えて高く、認知度は55%前後となっている。また、北部Aと中央部、中央南部の「知っている」が2割台で認知度は4割台から5割で続いている。反対に認知度が低いのは東部B、北部B、南東部、中央部、西部Aで「知らない」が5割を超えている。

表 男女平等推進センターの認知[全体、年齢別、居住地域別]

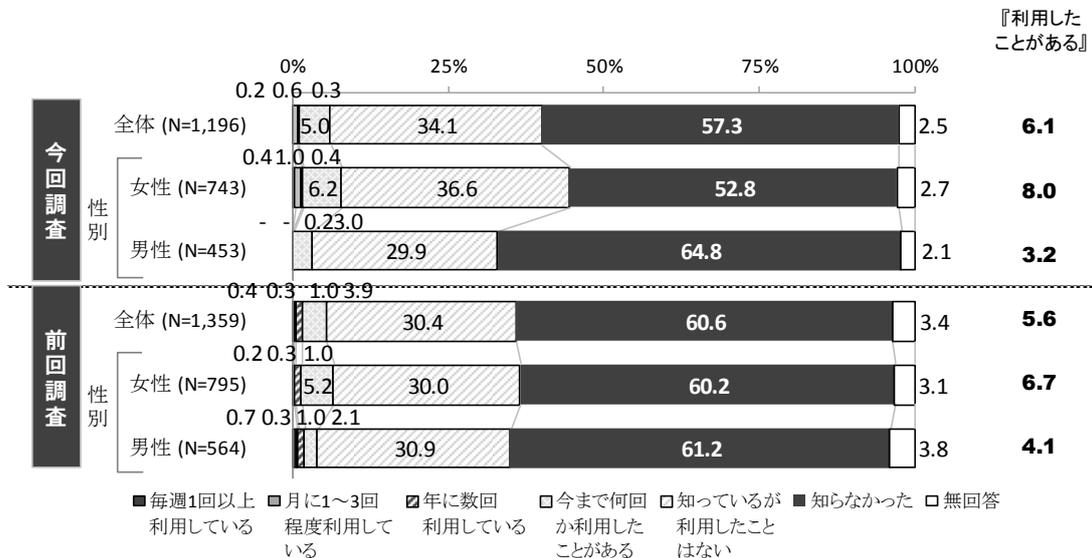
(%)

		合 計	知 っ て い る	名 前 を 見 聞 き し た こ と が あ る	知 ら な い	無 回 答	『 知 っ て い る 』
全 体		1,196 100.0	261 21.9	305 25.5	590 49.4	39 3.3	566 47.4
年 齢 別	女性:20歳代	61	8.7	28.6	62.7	-	37.3
	女性:30歳代	99	24.4	23.0	49.2	3.4	47.4
	女性:40歳代	140	29.3	28.9	39.3	2.4	58.2
	女性:50歳代	133	31.1	22.8	41.0	5.1	53.9
	女性:60歳代	184	22.8	30.1	44.3	2.9	52.9
	女性:70歳以上	124	34.0	22.1	38.0	5.9	56.1
	男性:20歳代	30	4.8	33.9	61.3	-	38.7
	男性:30歳代	54	9.8	21.5	63.3	5.4	31.3
	男性:40歳代	77	12.4	24.2	62.8	0.6	36.6
	男性:50歳代	93	21.6	13.8	61.4	3.1	35.4
	男性:60歳代	125	13.1	29.6	54.2	3.1	42.7
	男性:70歳以上	71	16.3	29.9	49.6	4.1	46.2
	無回答	5	20.0	-	80.0	-	20.0
居 住 地 域 別	東部A(山川、山本、草野、善導寺、大橋校区)	90	33.9	21.0	41.9	3.2	54.9
	東部B(船越、水分、柴刈、川会、竹野、水縄、田主丸校区)	80	15.2	19.4	58.2	7.3	34.6
	北部A(小森野、合川、宮ノ陣校区)	124	22.1	27.9	46.5	3.5	50.0
	北部B(北野、弓削、大城、金島校区)	73	17.0	27.2	52.4	3.4	44.2
	中央東部(西国分、東国分、御井校区)	143	34.3	22.2	41.4	2.0	56.5
	南東部(上津、高良内、西峰校区)	91	11.1	36.5	50.8	1.6	47.6
	中央部(荘島、日吉、篠山、南薫、長門石校区)	156	22.2	19.4	56.5	1.9	41.6
	中央南部(鳥飼、金丸、南、津福校区)	166	25.2	24.3	47.8	2.6	49.5
	南西部(荒木、大善寺、安武校区)	131	15.4	34.1	45.1	5.5	49.5
	西部A(城島、下田、青木、江上、浮島校区)	49	12.7	26.5	56.9	3.9	39.2
	西部B(犬塚、三瀧、西傘田校区)	73	19.1	28.7	49.7	2.5	47.8
		無回答	20	15.0	10.0	70.0	5.0

(2) 男女平等推進センターの利用

問 22. あなたは、これまでに男女平等推進センターを利用したことがありますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

図 男女平等推進センターの利用[全体、性別](前回調査比較)



「男女平等推進センター」の利用頻度は、「毎週1回以上利用している」が0.2%、「月に1~3回程度利用している」は0.6%、「年に数回利用している」は0.3%、「今まで何回か利用したことがある」は5.0%で、一度でも『利用したことがある』は全体の6.1%である。一方、「知っているが、利用したことはない」が34.1%で、利用者は少ない現状となっている。

性別にみると、『利用したことがある』(女性8.0%、男性3.2%)は、女性が4.8ポイント男性を上回っている。男性は「知らなかった」(同52.8%、64.8%)が12ポイント女性を上回っている。

前回調査と比較すると、女性の「知らなかった」は7.4ポイント減少しているが、「知っているが、利用したことはない」が6.6ポイント増加し、結果『利用したことがある』は微増となっている。男性ではあまり大きな変化はみられない。

年齢別にみると、女性の40歳代で「今まで何回か利用したことがある」が11.0%と1割を超えており、『利用したことがある』が13.5%と他の年代に比べて高くなっている。またその前後の年代である30歳代と50歳代でも1割弱の利用経験がある。

表 男女平等推進センターの利用[全体、年齢別](前回調査比較)

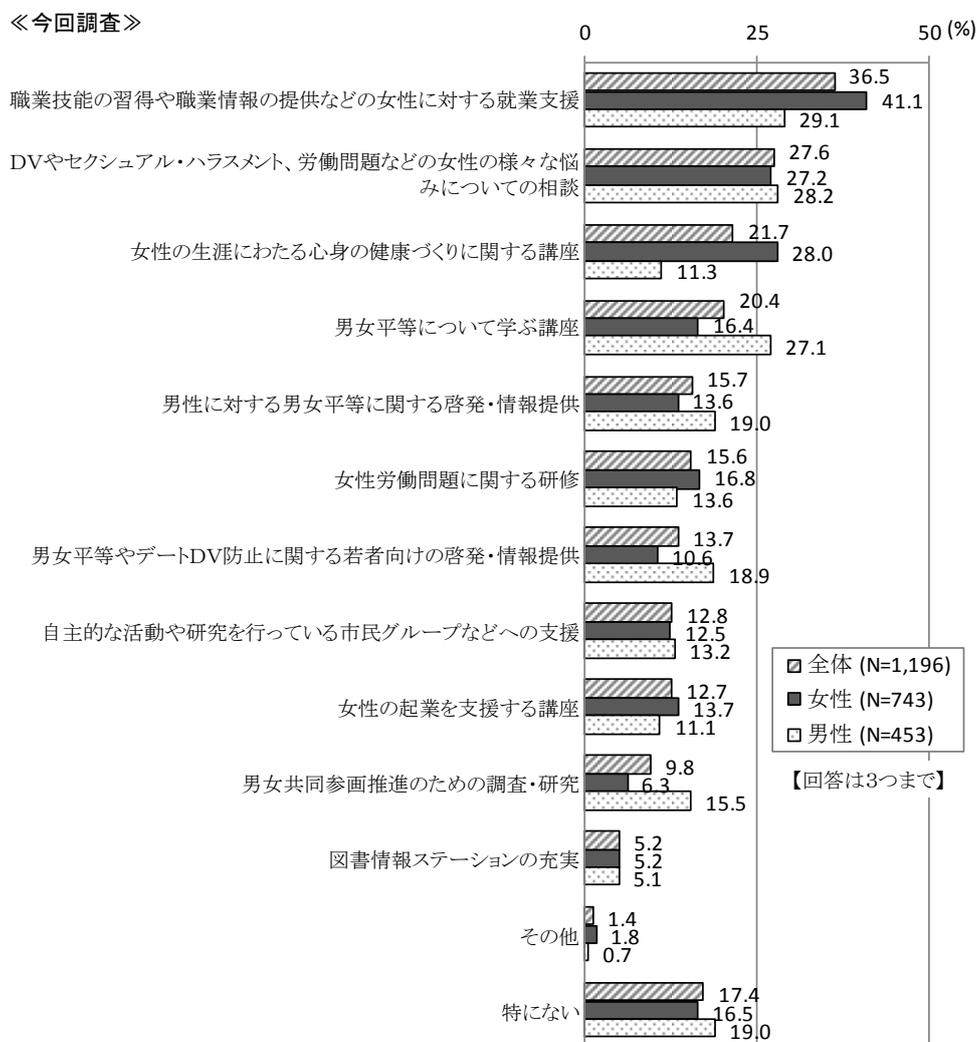
(%)

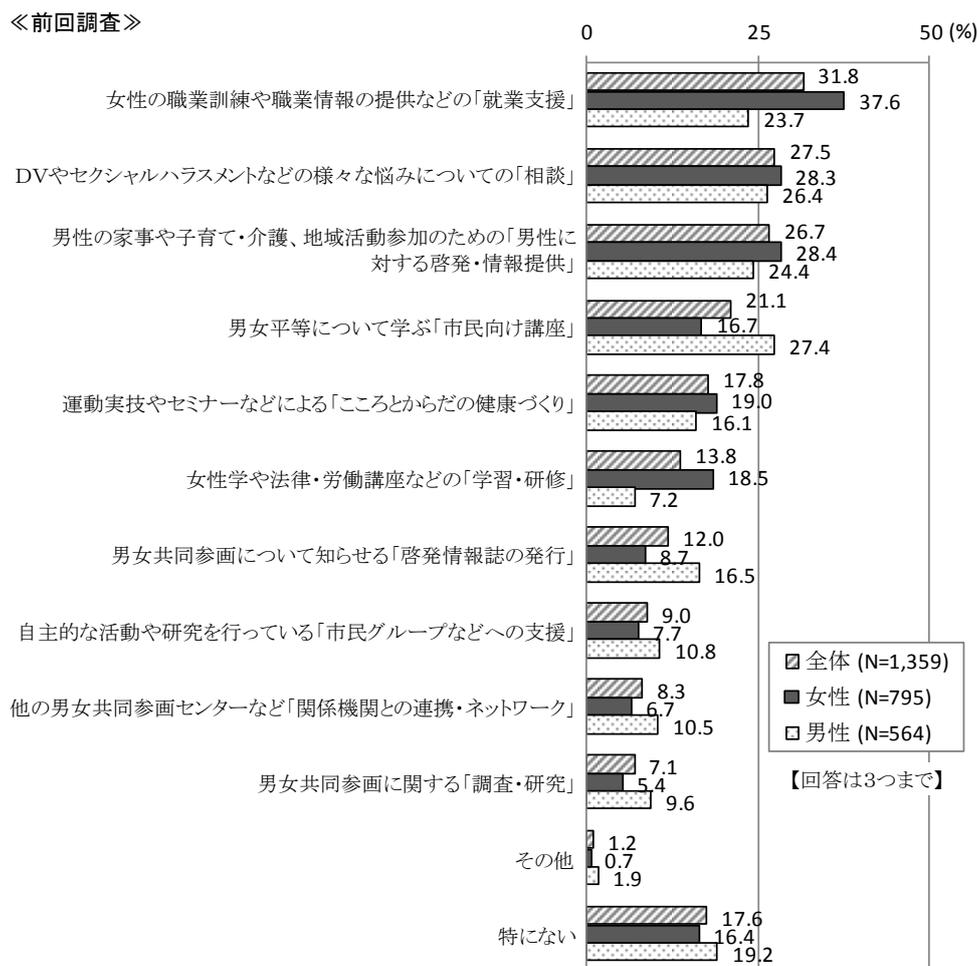
		合計	毎週1回以上利用している	月に1〜3回程度利用している	年に数回利用している	今まで何回か利用したことがある	知っているが利用しない	知らなかった	無回答	『利用したことがある』
全体		1,196 100.0	3 0.2	7 0.6	4 0.3	60 5.0	407 34.1	686 57.3	29 2.5	74 6.1
年齢別	女性:20歳代	61	-	-	-	-	28.6	71.4	-	-
	女性:30歳代	99	-	-	2.4	7.3	30.3	57.0	2.9	9.7
	女性:40歳代	140	-	2.1	0.4	11.0	40.0	46.5	-	13.5
	女性:50歳代	133	1.1	1.1	-	6.5	39.4	51.9	-	8.7
	女性:60歳代	184	-	0.8	-	5.0	33.2	57.1	3.9	5.8
	女性:70歳以上	124	1.2	1.2	-	4.6	43.8	41.5	7.8	7.0
	男性:20歳代	30	-	-	-	-	27.4	72.6	-	-
	男性:30歳代	54	-	-	-	-	30.4	69.6	-	-
	男性:40歳代	77	-	-	-	3.7	27.3	68.4	0.6	3.7
	男性:50歳代	93	-	-	-	3.6	22.1	72.7	1.5	3.6
	男性:60歳代	125	-	-	-	3.5	35.0	58.8	2.7	3.5
	男性:70歳以上	71	-	-	1.4	4.1	35.4	53.0	6.1	5.5
	無回答	5	-	-	-	-	20.0	80.0	-	-

(3) 男女平等推進センターに望む事業

問 23. あなたは今後、男女平等推進センターでどのような事業を充実してほしいと思いますか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

図 男女平等推進センターに望む事業[全体、性別](前回調査比較)





男女平等推進センターで今後充実してほしい事業は、「職業技能の習得や職業情報の提供などの女性に対する就業支援」が36.5%と最も高く、次いで「DVやセクシュアル・ハラスメント、労働問題などの女性の様々な悩みについての相談」が27.6%、「女性の生涯にわたる心身の健康づくりに関する講座」が21.7%、「男女平等について学ぶ講座」が20.4%と続いている。

性別にみると、男女の差が目立つ項目が多い。特に「女性の生涯にわたる心身の健康づくりに関する講座」（女性28.0%、男性11.3%）では16.7ポイント、「職業技能の習得や職業情報の提供などの女性に対する就業支援」（同41.1%、29.1%）では12ポイント女性の方が高いなど、女性自身の就業や健康への支援を望んでいる。一方、男性では「男女平等について学ぶ講座」（同16.4%、27.1%）で10.7ポイント、「男女共同参画推進のための調査・研究」（同6.3%、15.5%）で9.2ポイント、「男女平等やデートDV防止に関する若者向けの啓発・情報提供」（同10.6%、18.9%）で8.3ポイント、「男性に対する男女平等に関する啓発・情報提供」（同13.6%、19.0%）で5.4ポイント女性よりも高く、男性では学習や調査研究、啓発活動や情報提供を望む割合が高い。

前回調査とは項目の内容が違いますが、上位2位は女性の就業支援、DVやセクシュアル・ハラスメントなどの相談があげられている点では前回調査と同様である。今回調査では前回調査のこころとからだの健康づくりに「女性の生涯にわたる」という文言を加えたことから、心身の健康づくりに関する講座は特に女性での割合が高くなっていると思われる。

年齢別にみると、「職業技能の習得や職業情報の提供などの女性に対する就業支援」は男性も女性も40歳代が他の年代より高く、妻が再就労を開始する年代では男性も関心が高いことがわかる。女性では70歳以上を除くすべての年代で4割台から5割台と高い。「DVやセクシュアル・ハラスメント、労働問題などの様々な悩みについての相談」は女性の40歳代以下で3割台、また「女性労働問題に関する研修」も2割台と高い。女性の年齢の低い層では「労働問題」に関する事業に関心が高い。「男女平等やデートDV防止に関する若者向けの啓発・情報提供」は女性の20歳代で22.9%と高く、被害者になる可能性が高い年代では要望も他の年代より高くなっている。「女性の生涯にわたる心身の健康づくりに関する講座」は女性の50歳代以上で3割台と高くなっている。

居住地域別にみると、中央東部と南東部では「職業技能の習得や職業情報の提供などの女性に対する就業支援」が4割台、「女性の生涯にわたる心身の健康づくりに関する講座」が約3割、北部Bと中央南部では「DVやセクシュアル・ハラスメント、労働問題などの女性の様々な悩みについての相談」が3割台と他の地域に比べて高くなっている。

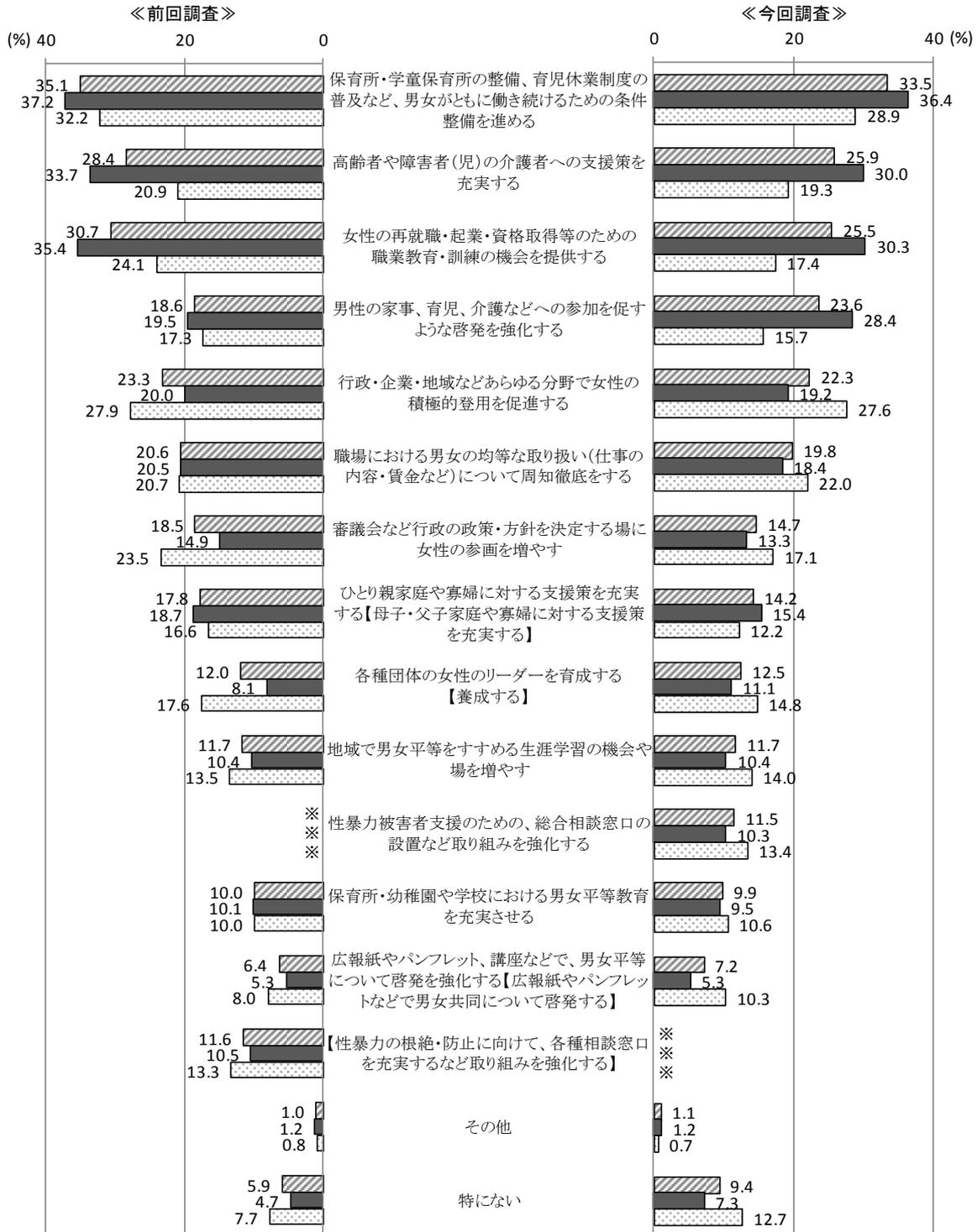
表 男女平等推進センターに望む事業[全体、年齢別、居住地域別]

		(%)																		
		合計	男女平等について学ぶ講座	女性労働問題に関する研修	職業技能の習得や職業情報の提供などの女性に対する就業支援	女性の起業を支援する講座	研究	男女共同参画推進のための調査・	図書情報ステーションの充実	悩みについての相談	DVやセクシュアル・ハラスメント、労働問題などの女性の様々な	若者向けの啓発・情報提供	男女平等やデートDV防止に関する啓発・情報提供	自主的な活動や研究を行っている	市民グループなどへの支援	男性に対する男女平等に関する啓発・情報提供	女性の生涯にわたる心身の健康づくりに関する講座	その他	特にな	無回答
全体		1,196 100.0	244 20.4	186 15.6	437 36.5	152 12.7	117 9.8	62 5.2	330 27.6	164 13.7	153 12.8	187 15.7	259 21.7	17 1.4	209 17.4	76 6.4				
年齢別	女性:20歳代	61	13.5	21.4	42.1	12.7	7.1	6.3	38.0	22.9	7.2	11.8	25.4	5.5	7.2	2.4				
	女性:30歳代	99	15.6	21.9	45.9	22.0	3.4	9.8	32.2	12.1	4.4	12.7	15.1	3.4	13.7	6.3				
	女性:40歳代	140	10.0	20.7	51.3	13.5	7.9	2.4	36.9	8.3	7.9	12.8	23.4	1.0	21.1	0.7				
	女性:50歳代	133	10.5	14.5	43.5	13.8	7.2	7.2	29.1	9.8	14.9	15.2	31.5	2.2	15.9	1.8				
	女性:60歳代	184	20.9	16.3	41.6	13.6	7.1	3.1	21.8	7.3	17.3	13.6	33.0	1.3	13.9	10.7				
	女性:70歳以上	124	25.6	9.7	22.0	8.5	4.2	5.0	12.8	10.9	17.5	14.7	34.0	-	21.3	15.1				
	男性:20歳代	30	30.7	9.7	35.4	11.2	16.2	4.8	24.2	19.4	19.3	12.9	11.2	-	21.0	-				
	男性:30歳代	54	16.9	19.6	26.8	12.6	17.9	14.3	27.7	18.8	9.8	13.4	17.0	2.7	20.5	-				
	男性:40歳代	77	24.3	19.9	40.5	22.4	3.1	8.1	31.7	24.9	6.3	13.7	11.2	-	16.1	3.1				
	男性:50歳代	93	28.3	11.9	27.3	5.2	13.4	3.6	42.9	19.1	11.3	17.0	14.4	0.5	22.6	3.1				
男性:60歳代	125	26.9	14.3	27.7	11.5	18.5	1.9	26.2	18.1	10.7	20.8	7.3	-	17.7	10.4					
男性:70歳以上	71	36.1	5.5	21.1	4.8	25.2	2.7	11.6	14.3	27.9	32.0	10.2	2.0	17.0	10.2					
無回答	5	-	-	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0	-	-	-	-	60.0	20.0				
居住地域別	東部A(山川、山本、草野、善導寺、大橋校区)	90	27.4	16.1	38.7	6.5	8.1	4.8	27.4	9.7	17.7	16.1	16.1	1.6	19.4	8.1				
	東部B(船越、水分、柴刈、川会、竹野、水縄、田主丸校区)	80	17.6	13.9	33.9	10.3	6.7	5.5	28.5	15.8	12.1	22.4	21.2	0.6	18.8	7.9				
	北部A(小森野、合川、宮ノ陣校区)	124	16.3	17.4	38.4	15.1	5.8	5.8	29.1	12.8	8.1	17.4	20.9	2.3	16.3	4.7				
	北部B(北野、弓削、大城、金島校区)	73	19.7	18.4	33.3	15.0	9.5	4.8	32.0	11.6	15.0	13.6	22.4	-	17.0	6.1				
	中央東部(西国分、東国分、御井校区)	143	19.2	15.2	44.4	18.2	7.1	8.1	23.2	9.1	14.1	12.1	29.3	1.0	13.1	10.1				
	南東部(上津、高良内、西峰校区)	91	20.6	11.1	41.3	12.7	12.7	4.8	28.6	14.3	12.7	20.6	28.6	1.6	12.7	4.8				
	中央部(荘島、日吉、篠山、南薫、長門石校区)	156	13.9	15.7	35.2	10.2	13.9	5.6	26.9	16.7	13.0	14.8	19.4	1.9	21.3	6.5				
	中央南部(鳥飼、金丸、南、津福校区)	166	20.0	15.7	34.8	15.7	12.2	4.3	34.8	18.3	13.9	12.2	18.3	1.7	13.0	2.6				
	南西部(荒木、大善寺、安武校区)	131	29.7	19.8	31.9	11.0	8.8	3.3	25.3	12.1	13.2	14.3	19.8	1.1	19.8	6.6				
	西部A(城島、下田、青木、江上、浮島校区)	49	23.5	12.7	31.4	5.9	15.7	1.0	23.5	15.7	8.8	18.6	23.5	-	21.6	7.8				
	西部B(犬塚、三瀧、西牟田校区)	73	24.2	12.7	33.1	10.8	10.2	6.4	22.3	13.4	10.2	17.8	24.8	1.3	20.4	7.6				
無回答	20	10.0	10.0	40.0	20.0	-	5.0	15.0	15.0	10.0	15.0	5.0	5.0	35.0	5.0					

3. 男女共同参画社会実現のために望む施策

問 24. あなたは、男女平等をより一層進めるために、市に対してどのような施策を望みますか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

図 男女共同参画社会実現のために望む施策[全体、性別](前回調査比較)



□ 全体 (N=1,359)
 ■ 女性 (N=795)
 □ 男性 (N=564)
 【回答は3つまで】

※前回または今回調査ではなかった項目
 【】内は前回項目

□ 全体 (N=1,196)
 ■ 女性 (N=743)
 □ 男性 (N=453)
 【回答は3つまで】

男女共同参画社会実現のために市に望む施策について3つまで選んでもらった。

「保育所・学童保育所の整備、育児休業制度の普及など、男女がともに働き続けるための条件整備を進める」が33.5%と最も高く、次いで「高齢者や障害者（児）の介護者への支援策を充実する」が25.9%、「女性の再就職・起業・資格取得等のための職業教育・訓練の機会を提供する」が25.5%で続いており、就業に関する項目が上位となっている。以下、「男性の家事、育児、介護などへの参加を促すような啓発を強化する」が23.6%、「行政・企業・地域などあらゆる分野で女性の積極的登用を促進する」が22.3%、「職場における男女の均等な取り扱い（仕事の内容・賃金など）について周知徹底をする」が19.8%となっている。

性別にみると、上位4位にあげられた項目は女性の割合が高く、「女性の再就職・起業・資格取得等のための職業教育・訓練の機会を提供する」で12.9ポイント、「男性の家事、育児、介護などへの参加を促すような啓発を強化する」で12.7ポイント、「高齢者や障害者（児）の介護者への支援策を充実する」で10.7ポイント、「保育所・学童保育所の整備、育児休業制度の普及など、男女がともに働き続けるための条件整備を進める」で7.5ポイント男性よりも高くなっている。一方、男性では「行政・企業・地域などあらゆる分野で女性の積極的登用を促進する」で8.4ポイント、「審議会など行政の政策・方針を決定する場に女性の参画を増やす」で3.8ポイント、「職場における男女の均等な取り扱い（仕事の内容・賃金など）について周知徹底をする」で3.6ポイント高くなっている。女性は仕事と家庭の両立や介護者への支援策を求めているのに対して、男性は女性の社会進出や方針決定の場への進出をうながす施策を求めている、男女間に意識の差がみられる。

前回調査と比較すると、女性で「男性の家事、育児、介護などへの参加を促すような啓発を強化する」が8.9ポイント高くなっており、男性では割合がやや低くなっている項目が全体的に多く、「特になし」が5ポイント増えている。男性の男女共同参画に関わる施策への関心がやや低くなっている傾向がうかがえる。

年齢別にみると、「保育所・学童保育所の整備、育児休業制度の普及など、男女がともに働き続けるための条件整備を進める」は、女性の20歳代と30歳代で5割を超えて高い。待機児童の問題など、子育てと就業の両立という問題の当事者である年代の切実な要望であろう。また、「男性の家事、育児、介護などへの参加を促すような啓発を強化する」は女性の20歳代で42.8%、30歳代と40歳代でも3割台と高く、「女性の再就職・起業・資格取得等のための職業教育・訓練の機会を提供する」は女性の20歳代から50歳代で3割台、「職場における男女の均等な取り扱い（仕事の内容・賃金など）について周知徹底をする」は女性の20歳代から40歳代で2割台と高くなっている。女性の年齢が低い層では就労や男性の家事参加への要望が高くなっている。「高齢者や障害者（児）の介護者への支援策を充実する」は女性の50歳代以上で3割台、また50歳代と60歳代で「審議会など行政の政策・方針を決定する場に女性の参画を増やす」「行政・企業・地域などあらゆる分野で女性の積極的登用を促進する」が2割前後と他の年代に比べて高く、これらの世代では介護者への支援や女性の社会進出や方針決定の場への参画への要望が高くなっている。

第8章 男女平等、男女共同参画などに関することについて

表 男女共同参画社会実現のために望む施策[全体、年齢別]

(%)

	合計	審議会など女性の参画を増やす	行政・企業・地域の積極的登用を促進する	各種団体の女性のリーダーを育成する	性暴力被害者支援のための、総合相談窓口の設置など取り組みを強化する	広報紙やパンフレット、講座などで、男女平等について啓発を強化する	男性の家事、育児、介護などへの参加を促すような啓発を強化する	保育所・幼稚園や学校における男女平等教育を充実させる	地域で男女平等をすすめる生涯学習の機会や場を増やす	女性の再就職・起業・資格取得等のための職業教育・訓練の機会を提供する	職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底をする	制度の普及など、男女がともに働き続けるための条件整備を整える	保育所・学童保育所の整備、育児休業	高年齢者や障害者（児）の介護者への支援策を充実する	ひとり親家庭や寡婦に対する支援策を充実する	その他	特にな	無回答
全体	1,196 100.0	176 14.7	267 22.3	150 12.5	137 11.5	86 7.2	282 23.6	119 9.9	140 11.7	304 25.5	236 19.8	401 33.5	310 25.9	170 14.2	13 1.1	112 9.4	59 4.9	
年齢別	女性:20代	61	6.3	14.2	14.3	15.1	2.4	42.8	12.7	5.5	38.1	22.2	55.6	18.3	13.5	2.4	5.6	-
	女性:30代	99	9.2	18.0	8.3	9.3	2.5	33.6	7.3	8.7	37.1	22.0	50.8	19.6	19.5	3.9	2.9	3.4
	女性:40代	140	6.5	19.3	11.7	10.3	4.8	33.1	6.6	6.9	35.8	26.2	35.5	27.2	13.1	1.8	11.8	1.0
	女性:50代	133	17.4	23.2	9.7	19.6	4.7	27.5	13.8	9.1	33.7	18.1	30.4	34.0	15.2	0.3	4.0	0.4
	女性:60代	184	21.2	20.9	11.0	6.8	7.6	26.2	8.1	13.4	28.3	14.9	35.4	36.4	13.9	0.3	6.0	6.0
	女性:70歳以上	124	11.6	15.9	13.1	4.3	7.0	15.1	10.9	15.1	14.3	10.0	25.2	33.0	18.2	0.4	11.6	14.7
	男性:20代	30	11.2	21.0	20.9	8.1	4.8	24.1	14.5	12.9	17.7	27.3	30.7	9.7	20.9	4.8	9.8	-
	男性:30代	54	13.4	15.2	12.5	8.1	9.8	18.8	22.3	7.2	18.7	31.3	26.8	17.0	8.0	2.7	14.2	4.5
	男性:40代	77	16.2	16.2	17.4	13.7	6.2	19.9	8.7	7.5	26.7	26.7	31.7	25.5	18.0	-	11.8	3.1
	男性:50代	93	11.3	26.3	10.3	21.1	8.7	11.9	14.4	13.4	20.1	17.5	31.5	22.7	10.8	0.5	17.0	2.6
	男性:60代	125	14.2	35.4	18.1	17.3	10.0	11.9	8.9	14.6	15.4	20.8	27.3	17.3	10.0	-	12.7	9.6
	男性:70歳以上	71	35.4	40.8	11.6	1.4	20.3	17.7	0.7	26.6	6.8	15.0	27.2	18.3	11.6	-	8.2	5.4
	無回答	5	20.0	-	-	20.0	-	40.0	-	-	20.0	40.0	-	20.0	-	-	20.0	20.0

